

考古学概説 II

科目ナンバリング ARC-102
学芸 選択 2単位

阿部 朝衛

1. 授業の概要(ねらい)

日本列島の文化は旧石器時代から始まる。先史時代は無文字社会であるので、歴史を研究するにあたり土器や石器などの遺物、住居や墓穴などの遺構が中心的な史料となるが、歴史時代でも遺構・遺物は大切な史料である。阿部担当の考古学概説 I・II では、旧石器時代から古墳時代までの経済・社会活動を遺跡・遺物を検討し、文化の連続性・不連続性を概説する。また、日本列島の文化の独自性、多様性も検討し、文化の時空間上の変化とその背景も追求していきたい。

秋期の考古学概説IIでは、縄文時代、弥生時代、古墳時代の概説を行う。

2. 授業の到達目標

1. 時間軸上では、縄文時代、弥生時代、古墳時代の文化内容の比較によって文化の連続性・不連続性が理解できる。
2. 東アジアにおいてのそれぞれの時代の特徴、それぞれの時代における空間的変化を理解できる。

3. 成績評価の方法および基準

期末テスト(80%)・履修態度(20%)によって評価する。テストの課題は講義内容にそったものである。

4. 教科書・参考文献

参考文献

鈴木 公雄 『考古学入門』 東京大学出版会

斎藤 忠 『日本考古学概論』 吉川弘文館

江上 波夫 『考古学ゼミナール』 山川出版

勅使河原彰 『考古学研究法』 新泉社

その他の入門書・講座本などのリストはプリントして配布する。また、資料は適宜プリントして配布する。

5. 準備学修の内容

休日を利用して歴史系博物館や史蹟を見学する。図書館を大いに利用し、講義時の疑問点等を調べる。

6. その他履修上の注意事項

各自の出身地または居住地の遺跡・遺物について調べておくことをのぞむ。

7. 授業内容

- 【第1回】 土器の起源と定住化
- 【第2回】 縄文時代の生業活動
- 【第3回】 縄文集落と道具
- 【第4回】 縄文人の形質
- 【第5回】 大陸との関係
- 【第6回】 弥生時代の渡来文化と伝統文化
- 【第7回】 弥生時代の生業活動
- 【第8回】 弥生時代の集落と道具
- 【第9回】 弥生時代人の形質
- 【第10回】 北海道・南西諸島の文化
- 【第11回】 墳丘墓と古墳
- 【第12回】 古墳築造の背景
- 【第13回】 古墳時代の生活
- 【第14回】 古墳時代における周辺地域の文化
- 【第15回】 まとめと試験